

1. 学校名 対象 (学年、人数)

根羽村立義務教育学校根羽学園 7 年生 8 名

2. 探究課題・活動実践の概要、ねらい、目標等

(1) 活動テーマ

根羽村を知り、出会い、自分の将来を考えよう

(2) 目 標

自分の『やりたい』を『誰かのためになるチャレンジ』に昇華させ、行動できるようになる

(3) ESD の視点、育成する資質・能力

①構成概念

- |   |  |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 多様性 (多種多様な現象が起きていること)  | <input type="checkbox"/> 公平性 (一人ひとりを大切に)               |
| <input type="checkbox"/> 相互性 (関わりあっている)         | <input checked="" type="checkbox"/> 連携性 (互いに連携・協力すること) |
| <input checked="" type="checkbox"/> 有限性 (限りがある) | <input checked="" type="checkbox"/> 責任制 (責任を持って)       |
| <input type="checkbox"/> その他 ( )                |  |

②育成する資質・能力

- |   |   |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 批判的に考える力                   | <input checked="" type="checkbox"/> 他者と協力する力    |
| <input checked="" type="checkbox"/> 未来像を予測して計画を立てる力 | <input checked="" type="checkbox"/> つながりを尊重する態度 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 多面的・総合的に考える力    | <input type="checkbox"/> 進んで参加する態度              |
| <input type="checkbox"/> コミュニケーションを行う力              |   |

(4) 関連する SDG s



(5) 探究課題・活動実践の概要

- ①自己理解を深めるための検査を受け、自分の良さや強みを改めて知った。
- ②テキストを使いながら、将来の自分について考えたり、働くことの意義を考えたりした。
- ③人生の先輩 (働く人たち) の話を聞いた。(身近な人、根羽村外で働く人)
- ④職場体験学習 (事業所について調べる、実習、レポートを書く、お礼の手紙を書く)
- ⑤今までの活動を振り返って、残り 2 年間の活動の見通しをもつ。

### 3. 流れ（指導計画の概略）

授業計画						
期	月	日	項目	内容	参考リンク	
学期	4	15	振り返り / 1年間の総合について	中学生になったタイミングで自分について考える時間を多く設ける		
	5	13	職場体験のテーマ / 事業者	生徒の担当事業所が決まる	【R6】7年 職場体験学習（案）	
		20	受け入れ事業所へのアポ	電話練習 / アポ取り		
	6	3			事前学習	課題に対する事前情報調べ・提案づくり①
		13				
		17	課題に対する事前情報調べ・提案づくり②			
	7	18	職場体験学習	課題に対する事前情報調べ・提案づくり③	<a href="#">Canva ワークシート</a>	
		24				
		1		インタビュー内容決め		
		8		提案内容の確認		
	学期	23	若杉祭 / 準備	生徒会活動総合の発表準備 / 若杉祭全体準備	-	
		24				
8		林業体験事前学習				
9						
10		16				林業体験
						林業体験事後学習
11						福祉体験事前学習
		福祉体験				
12		キャリアワーク				
学期	1		来年度に向けてのオリエンテーション	8・9年生の事例紹介 / 村に「貢献する」とは？	-	
			根羽村のよさ・課題を考えよう	根羽村のよさや課題について考える	-	
	2		テーマについて情報を得る①（森林）	よさや課題に紐づく情報をリサーチする	-	
			テーマについて情報を得る②（食）	よさや課題に紐づく情報をリサーチする	-	
	3		テーマについて情報を得る③（人口）	よさや課題に紐づく情報をリサーチする	-	
			まとめ	来年度以降取り組みたいテーマとスケジュールを決める	-	
	-		9年生を送る会 / 準備	-	-	

### 4. 効果・反応・所感

地域の人々や地域外の人々との関わり、対話する中で、自分たちの村のよさ、課題について自分事として考えることができています。アイデアを出すだけで終わらず、今後どう実現していけばいいのかという視点でも考えを深めることができていた。今後さらに議論を重ねて、活動内容を決めていきたい。

### 5. 指導方法・体制の工夫（協力者や資源）

- ①地域の事業所や地域の方々の協力を得た。
- ②阿南町の職場で職場体験を行った。